

津軽ダムだより

202号
2016年
11月21日



【西目屋村関和典村長のご発声で、竣工を祝して全員で万歳三唱！！】

津軽ダム 竣工式

10月16日（日）、清々しい秋空の下、ダムサイトにおいて竣工式を執り行い、国、青森県、弘前市、西目屋村、用地提供者など関係者約450人が出席し、津軽ダムの竣工を祝いました。

式典では、主催者挨拶に続き来賓の方々から祝辞を頂戴したあと、事業経過報告及び映像『映像と写真で辿る津軽ダム建設事業～白神のめぐみ息づく我が故郷の記憶～』の上映、西目屋小学校児童の皆さんからの期待の言葉、記念放流、用地提供者代表の方による故郷献花、湖名碑除幕、くす玉開披を行い、最後は参加者全員で万歳三唱をし、竣工を喜び合いました。

また当日は、西目屋登山囃子保存会並びに西目屋村連合婦人会の皆さんによる郷土芸能「お山参詣」が披露されたほか、白神カヌークラブはじめ県内のカヌー愛好家の皆さんが湖面からお祝いに駆けつけるサプライズや「好きです西目屋ふるさと親善大使」の吉幾三さんからビデオレターが届くなどし、会場は祝賀ムードに包まれました。

祝

～ 津軽ダム竣工 ～

祝

津軽ダムは、昭和35年に完成した目屋ダムの再開発事業として昭和63年度に実施計画調査を開始して以来、平成12年度に一般補償に関する協定調印、26年度には本体コンクリート打設完了などを経て、今年2月から試験湛水を行い、安全性や機能が確かめられたことから、9月に終了し、実施計画から28年の歳月を経て、竣工を迎えました。



竣工式当日、ドローンで空中撮影した津軽ダム

オープニング



西目屋登山囃子保存会・西目屋村連合婦人会の皆さんによる「お山参詣」

竣工式当日は天候にも恵まれ、名実ともに晴れの日となりました。開式前のダム天端では、郷土芸能「お山参詣」が披露され、金色の御幣が日を受けて輝き、お囃子が冴え冴えと響き渡ると、会場は清澄な空気に包まれ、いよいよ竣工式が始まりました。

式典の様子を写真でご紹介します。



用地提供者の方々をはじめ、ご来賓の皆様、関係者など約450人が出席し、盛大に執り行いました

- 一、開式
- 一、挨拶
- 一、来賓祝辞
- 一、来賓紹介
- 一、事業経過報告
- 一、期待の言葉
- 一、記念放流
- 一、故郷献花
- 一、湖名碑除幕
- 一、くす玉開披
- 一、万歳三唱式
- 一、閉式

式次第

主催者挨拶



【**西憲之弘前市長**】「流域8市町村に多大な恩恵がもたらされるものと確信している」「新たな観光資源として地域活性化に寄与するものと期待している」



【**関和典西目屋村長**】「1400人の村民を代表し、感謝の気持ちでいっぱい」「多くの方々から期待されているダムツーリズムをしっかりと成功させたい」



【**青山祐治青森県副知事**】三村申吾知事のメッセージを代読。「地域産業や経済の活性化に期待」「流域の発展や安全・安心の確保に貢献するよう願う」



【**泊宏国土交通省水管理・国土保全局治水課長**】「流域の皆様の安全と安心の向上、地域の経済基盤の安定に多大な効果を発揮するものと期待している」

来賓祝辞



【木村太郎衆議院議員】「今日を新たなスタートとして、津軽ダム・津軽白神湖を活用し、責任を持って次の世代に引き渡していくことを誓う」



【足立敏之参議院議員】「末永く治水面・利水面で大きな効果を発揮していくとともに、観光面でも大きな成果を上げることが期待している」

事業経過報告

鈴木勇治津軽ダム工事事務所長が挨拶し、長年の皆様方のご理解、ご協力、ご支援に深謝し、なかでも用地提供者の方々の心情に思いを致し、あらためて謝辞を述べました。また事業を通じて記録した動画や写真を取りま



とめ、映像で振り返りました。



期待の言葉



西目屋小学校の各学年代表者6人が、ダムへの思いや期待を発表。「ダムに負けないように頑張る」や「将来はダムで働きたい」など嬉しい声が聞かれました。

記念放流



式典会場とダム堤体を映像で繋ぎ、関係者が一斉にスイッチを押すと、モニターに放流の様子が映し出され、拍手が沸き起こりました。

湖名碑除幕



ダム湖「津軽白神湖」が、末永く愛されるよう願いを込めて、関西目屋村長、長利充弘西目屋村教育長、西目屋小学校児童らが湖名碑の除幕を行いました。(揮毫は関西目屋村長)

故郷献花



建設に伴い移転された、砂子瀬・川原平の皆様を代表して、故郷に感謝の意を込め、ダム湖に向かいお花を捧げました。

くす玉開披・万歳三唱



津軽ダムの竣工を祝い、ダム天端前で関係者らがくす玉割りをしたほか、関西目屋村長の掛け声で、全員で声高らかに万歳三唱し、割れんばかりの拍手で式典を締めくくりました。(万歳三唱の様子は表紙に掲載)

祝賀メッセージ



「祝・津軽ダム竣工」のメッセージを携えて湖面に駆けつけた、地元白神カヌークラブや県内カヌー愛好家の皆さんに、出席者の皆さんが手を振って応えました。



「好きです西目屋ふるさと親善大使」の吉幾三さんからビデオレターが届き、「白神が故郷」の歌唱シーンでは、子どもたちから合唱が湧き起こりました。



～「新展望所」がオープンしました～

津軽ダムの竣工に伴い、10月17日に新展望所がオープンしました。新展望所は、前の展望所より高いところに設置されたことから、津軽ダムや津軽白神湖周辺の景色を一望することができ、晴れた日には岩木山も眺望することができます。

また、特にオープンが白神山地の紅葉シーズンと重なったことから津軽ダムを訪れる来場者も増え、新展望所が開所してから、1ヶ月ほどで約9,400人が訪れ、津軽地方はもとより全国から大勢の方々に来場していただきました。



▲新展望所からの景色を楽しむ来場者



▲新展望所から眺望する津軽ダムと津軽白神湖

～「弘前工業祭」でパネル展を開催しました～

10月15日（土）、16日（日）青森県立弘前工業高校の文化祭「弘工祭」に津軽ダムのパネルを展示いたしました。学校からの依頼により、今年で9回目の出展となります。パネル展を通じて生徒や文化祭に訪れる地域の方々に津軽ダムの役割や効果を理解していただく良い機会と考えており、会場を訪れたの方々には、職員や土木科の生徒の皆さんが熱心にパネル展の説明を行いました。



▲ベッカー君の測量アート
(土木科の生徒が作成)



▲パネル展には多くの方が来場しました。

▲コミュニティFM「アップルウェーブ」の生放送



▲インタビューを受ける弘工生と佐藤建設監督官

～「秋の見学会」を開催しました～

10月16日に竣工した津軽ダムを皆様にご覧いただくため、10月30日（日）事務所主催の「秋の見学会」を開催し、全国から82名の方々にご参加いただきました。

今回の見学会では、津軽ダム天端、美山橋、2号水質保全施設から紅葉している津軽白神湖周辺の景色などを楽しんでいただきました。

津軽ダム天端から紅葉する景色を眺望した見学者は、「完成したダムは、大きいし、迫力がある。天端から見渡す景色は、格別だ。」と感想を話してくれました。また、津軽白神湖を横断する唯一の橋「美山橋」から見る光景は、「紅葉している景色に囲まれて神秘的だ」という声が聞かれました。参加された見学者は、天端で紅葉をバックに記念写真を撮ったほか、思い思いに景色をカメラに収め、錦秋の津軽ダムを楽しみました。



▲津軽ダム天端から周辺景色を眺望



▲津軽ダム天端から高さを実感しました



▲取水塔歩廊からの眺めは怖かった



▲美山橋から見る紅葉は絶景でした



▲2号水質保全施設では紅葉した景色が湖に映し出されて最高でした。

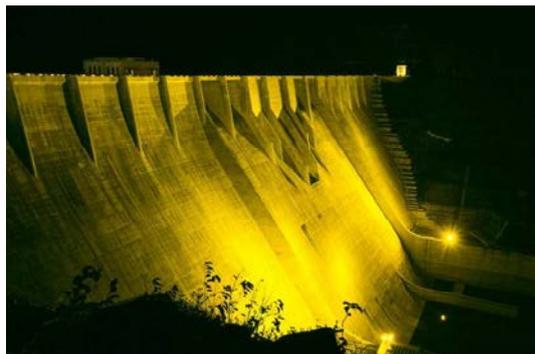


▲津軽ダム天端で記念写真

またまた津軽ダムをライトアップ!

津軽ダムでは、季節毎にライトアップを行っており、10月18日(火)～11月6日(日)まで秋の夜空を津軽ダムのライトアップで彩りました。今回は、夏のライトアップで来場者を対象に行ったアンケート結果に基づき、照らし出す色を決定しました。

月～木曜日、土・日曜日は、アンケート結果で一番回答が多かった「ゴールド」にし、金曜日は週毎に色を変え、第二位の紫、第三位の混合、第四位の赤にし、全部で四パターン行いました。前より高くなった新展望所からの眺めは、ライトアップした津軽ダムを一層楽しむことができ、竣工した津軽ダムを一目見ようと多くの人が新展望所を訪れました。



▲新展望所より撮影



▲居森平より撮影



▲新展望所より撮影

～新しいダムカードを配布しています～

津軽ダム工事事務所では、10月16日の竣工に伴い新しいダムカード(Ver.1.0)を配布しております。

津軽ダムにおいてもダムを訪問された皆様(希望者)にダムカードを配布しています。

- (1) ご希望の方は、津軽ダム工事事務所2F総務課までお越しください。
- (2) カードの配布(無料)は、津軽ダムへの来訪者お一人様1枚とさせていただきます。
- (3) 電話依頼等での郵送は行っておりません。



▲配布ダムカード

配布場所	配布時間	住所	電話番号
津軽ダム工事事務所 2F 総務課	9:00～17:00 (土日、祝日は、配布していません。)	青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田57	0172-85-3005

★ 編集後記 ★

津軽ダムが竣工し、津軽ダムパーク(新展望所)にはたくさんの方が連日来場しております。特に紅葉シーズンと重なったことからパーク内の駐車場には観光バスが多く、竣工したダムと津軽白神湖周辺の景色を楽しもうと全国から訪れていました。津軽ダムが西目屋村の新たな観光スポットになるようこれからも広報活動を行っていきたいと思います。是非、皆さんも津軽ダムを間近からご覧になってください。お待ちしております。(佐々木)

編集・発行

国土交通省 東北地方整備局
津軽ダム工事事務所

〒036-1411

青森県中津軽郡西目屋村田代字神田57

TEL 0172-85-3005

FAX 0172-85-3008



津軽ダム工事事務所
ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/tugaru>